一般国道2号＆31号＆広島南道路　　平成16年12月10日

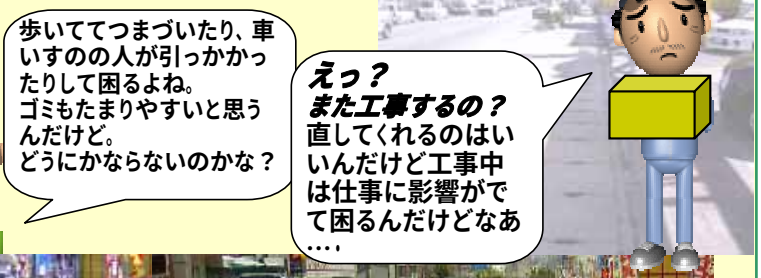
2004
vol.15

ひろいトピックス

国土交通省
広島維持
出張所

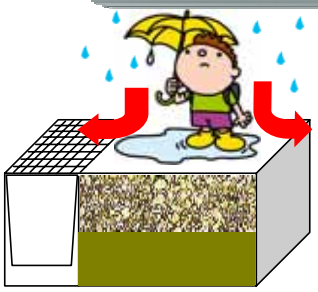
新工法の紹介
スチール透水蓋工法

海田～矢野地区で歩道の整備工事が完成しました。
歩道の傷んだ箇所を修繕し、平坦な舗装にするとともに「透水性舗装」及び従来のコンクリート蓋を「スチール透水蓋」にすることにより安全で快適な歩道をつくるものです。
ここで、「スチール透水蓋」について説明しましょう。

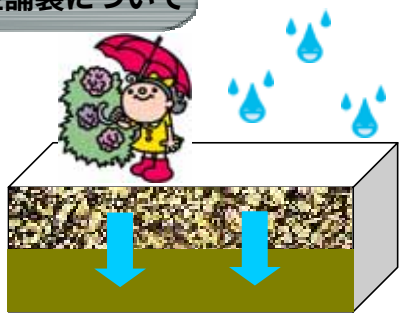


スチール透水蓋は側溝に逆V型の鋼材を、隙間を開けて並べ、その上に透水性舗装（後述）を行う事により歩道の排水を行うものです。
従来のコンクリートを使った側溝に比べて工費も減り、また従来の工法では工期が1週間ほどかかっていたが、スチール透水蓋工法では、施工後1～2時間で通行できるようになります。
景観もご覧のとおり良くなります。

透水性舗装と排水性舗装について



従来の舗装は、雨が降ったときに雨水が道路にしみこまないため水たまりになっています。



透水性舗装では、雨水が舗装の隙間をとおりそのまま地中にしみこみます。歩道に用いられる舗装です。
地盤から下に雨水を浸透させることにより路面に水たまりができないので、雨の日の歩行が快適になります。
雨水が地下水となり、街路樹などの木や花が元気になります。
舗装に隙間があるので太陽熱を蓄積せず、真夏のヒートアイランド現象を緩和します。

排水性舗装は、透水性舗装と同じように舗装の隙間から水をしみこませる舗装方法で、透水性舗装と違って、排水は側溝に流します。
主に車道に用いるもので、隙間があることによりタイヤのロードノイズを吸音する効果があるため、「低騒音舗装」とも呼ばれています。

国道2号皆実舗装修繕工事
施工場所：広島市南区皆実町
（延長約145m）
工事期間：～11月30日完成

国道31号矢野歩道整備工事
施工場所：安芸郡海田町栄町～矢野東1丁目（延長約860m）
工事期間：～11月30日完成

国道2号大野舗装修繕工事
施工場所：佐伯郡大野町宮島1丁目
（延長約760m）他
工事期間：～12月24日まで（予定）